

6月のイベントカレンダー

日	曜	行事予定
1	木	18:30 日本語会話教室(夜)
2	金	10:00 日本語会話教室(昼)
3	土	10:00 日本語ボラ育成講座 14:00 会員総会・記念講演会
4	日	休館日
5	月	休館日
6	火	
7	水	※13:30 ドイツ語
8	木	18:30 日本語会話教室(夜)
9	金	10:00 日本語会話教室(昼)
10	土	10:00 日本語サークルあつはな 10:00 日本語ボラ育成講座 10:00 出張JICAデスク 15:00 高校生ワークショップ
11	日	10:00 子ども日本語ひろば 10:00 外国語おはなしのへや 14:00 幹事会
12	月	休館日
13	火	
14	水	※13:30 ドイツ語
15	木	18:30 日本語会話教室(夜)
16	金	10:00 日本語会話教室(昼)
17	土	10:00 英会話サークルFIND 10:00 日本語ボラ育成講座
18	日	休館日
19	月	休館日
20	火	
21	水	※13:30 ドイツ語
22	木	18:30 日本語会話教室(夜)
23	金	10:00 日本語会話教室(昼)
24	土	10:00 日本語ボラ育成講座 13:30 情報紙発送
25	日	10:00 子ども日本語ひろば 10:00 国際子育てサロン
26	月	休館日
27	火	
28	水	※13:30 ドイツ語
29	木	18:30 日本語会話教室(夜)
30	金	10:00 日本語会話教室(昼)

会津若松市国際交流協会

〒965-0871 会津若松市栄町2-14

リオン・ドールガーデン5階

TEL: 0242-27-3703 メール: mail@awia.jp

Webサイト: <https://www.awia.jp>

日本語サークル“あつはな”

当協会主催の、日本語を母語としない人たちが日本語で自由におしゃべりするサークルです。日本語を学ぶ場ではありません。最初は簡単なゲームでアイスブレイクを行って、フリートークへうつります。日本語を話したい外国出身の方にご紹介ください。また、日本語ネイティブの方はボランティアとしてご参加ください。

日 時 6月10日(土) 10:00～11:30
場 所 会津稽古堂研修室1
定 員 15名
参加費 無料
申込み 6月9日(金)までに当協会へ



JICAボランティア募集と募集説明会のお知らせ

自分の持っている技術と経験を世界で生かしてみませんか？詳しくはウェブサイトをご確認ください。応募期間は5月19日～7月3日正午。

■募集説明会 6月3日(土) 14:00～16:00
場 所 郡山市ビッグアイ 市民交流プラザ大会議室1
■福島県JICAデスク 協力隊個別相談【随時受付中、要予約】
申込み 福島県JICAデスク松山まで直接メールで
メール: jica_fukushima_desk@jica.go.jp

会津で世界と会話しよう！英会話サークルFIND

当協会主催の、英会話をしながら出会いと交流を楽しむ場です。英語が得意な方も英語学習を始めたばかりの方もぜひお越しください。

日 時 6月17日(土) 10:00～11:30
会 場 会津稽古堂1 申込み 6月16日(金)当協会まで



情報紙発送ボランティア

情報紙の袋づめなどの簡単なお手伝いに参加してみませんか？1時間半くらいで終わります。予約は不要、どなたでも自由にご参加ください。

日時 6月24日(土) 13:30～
場所 当協会

出張JICAデスク

JICA福島デスクの松山さんが、当協会に一日駐在します。海外協力隊、日本語教育、スリランカのことに詳しい松山さんとお話してみたい方はお気軽にご連絡ください。

日時 6月10日(土) 10:00～14:00
場所 当協会

イベントの最新情報をお届けします！

<https://www.facebook.com/awiajp>



メール申込み用
QRコードも
ご利用下さい



第324号 2023年 6月

◆6月3日(土)は会員総会のため、午後13:00より協会事務所を臨時閉館いたします。

田村 太郎さんと一緒に考える、多文化共生の会津の未来



場 所 会津稽古堂3階 研修室2, 3
会員総会 14:00～15:15
記念講演会 15:30～17:15
タイトル 「これからの会津若松と多文化共生
～世界とつながり外国人とともに拓く地域の未来～」
講 師 田村 太郎氏
(一財)ダイバーシティ研究所代表理事
申込み 6月2日(金)までに当協会へ

世界を旅した経験を持ち、阪神・淡路大震災後に多文化共生センターを立ち上げた田村太郎さんのお話です。市内には約950人の外国籍の方が住んでいます。未来は彼らと共にある！講演会は直前までお申し込みいただけます。

※記念講演会は会員外の方でもご参加いただけます。懇親会は申し込みを締め切らせていただきました。

外国語おはなしのへや

がいくごの えほんのじかん

小学生が、外国語の響きとリズムで絵本の世界を楽しむイベントです。会津に住む外国人ボランティアが、母国語で絵本の読み聞かせをします。今回は英語・中国語・シンハラ語の絵本を読みます。シンハラ語はスリランカ出身の留学生在が協力します。よみかき後は、当協会の語学ボランティアと一緒にクイズやゲームをして遊びます。小学生のお子さんのいるご家庭に、ぜひご紹介ください。

日 時 6月11日(日) 10:00～12:00
場 所 会津稽古堂研修室1・4・7
対 象 小学生30名
参加費 無料
申込み・問合せ 会津図書館
TEL 0242-22-4711 FAX 0242-22-4702
※学校で配られる申込書に記入して図書館へ、またはFAXをご利用ください。5月20日(土)から先着順で受け付け中。



博物館の「なんだべや」で子育てトークしよう

当協会の“子育てサロン”に参加しませんか？子育て世代の保護者が集まって、子どもを遊ばせながらおしゃべりを楽しむ会です。本年度初のサロンは、博物館のリニューアルしたフリースペースで行います。会津のものづくり文化に触れることができ、おむつ替えコーナーもある「なんだべや」は、お天気に関係なく親子で遊べるスポットです。大きいお子さんがいる保護者の方は、見守りボランティアとしてのご参加をお待ちしています。ぜひご連絡ください！



日 時 6月25日(日) 10:00～11:30
場 所 福島県立博物館(城東町1-25)※駐車場あり
「雪国ものづくり広場 なんだべや」
対 象 未就学児とその保護者 ※会員外も参加可
内 容 博物館の体験施設で会津の文化に触れながら交流会
定 員 15家族(30人程度)
参加費 無料
申込み 6月23日(金)までに
右記申込フォームから 申込みフォーム

★このイベントには参加できないけれど、当協会の子育てサロンに入りたい方は、お気軽にご連絡ください。4面に問合せ用QRコードがあります。



申込みフォーム

協会の最近の事業の様子をお知らせします！SNSでも発信しているのでご覧ください。

事業報告

みんなで持ち寄ってみんなが楽しい！ お花見ポットラックパーティー

4月9日（日）は小雨の中、「お花見ポットラックパーティー」を行いました。外か中か？スタッフがさんざん迷った結果、花をあきらめて事務所内と廊下で行うことにしました。会員さんだけでなく、SNSで知ったという方も参加して、57人（うち外国籍の方18人）がそれぞれのポット（鍋）にラック（運=料理）を持ち寄りました。



AWIAのお花見ポットラックパーティーに初めて参加しました。みんなが持ってきた素晴らしい料理に圧倒されました。コロナの規制が解除された後の最大のイベントで、みんなが興奮し、喜んでいるのが感じられました。私はみんなと話したり、手作りの料理を楽しむことができて、とても嬉しかったです！

チャイニー エリカ(国際交流員)



I made pasta salad!
私(エリカ)はパスタサラダを作ったよ！

はたけで国際交流 会津小菊かぼちゃに、よまききゅういも！

5月13日（土）に、第一回「ファームビジット」を行いました。スリランカ、ガーナ、ベトナム、アメリカ、カナダ、中国、日本の会員16人が、3グループに分かれて苗を植えました。磐梯山、飯豊山を望む大地に、なんとも多国籍な野菜が根を下ろしました！

ファームビジットは、いろんな国から集まった人たちとチームになって、お互いを知ることができる素晴らしい機会です。言葉の壁に関係なく参加でき、私たちの苦勞が美しい野菜に育つを見ることができます！会津の伝統野菜についてのお話を聞いたり、農業のことを教えてもらって、自分でも植物を育ててみたいとなりました。

ローレン ザスア (Lauren Zasucha)



クレソン、芽キャベツ、バジル、デトロイトビーツ、スイスチャード、インドジン・ウソツカナイ、牛角大王、コーン、えだまめ、ジャガイモなど。会津伝統野菜の余蔭（よまき）きゅうりや、会津丸茄子、会津小菊かぼちゃも植えました。秋の収穫が待ち遠しい♪



ハッとした楽しい瞬間 「それって“ナメクジ”だったのか！」

今回の“あつはな”で、私は「ナメクジ」について学びました。他の参加者が趣味のガーデニングの話をしていて、ナメクジに出会ったと言っていました。ナメクジに似ている生き物があるか聞いたら、似ている生き物には背中に「家」があるけれど、ナメクジにはない、と。背中に貝殻がある生き物は少ないし、庭にいるのはもっと少ない…。それで、「スラグ(slug)がナメクジだ！」とわかったのです！「ハッ」とした楽しい瞬間でした。

フィリップ マーキー (Phillip Markee)



5月14日（日）は日本語サークル「あつはな」の初回でした。外国人が日本語を自由にたくさん話せる場にしたいと、大学生の室田 彩花さんが企画しました。初回は14人があつまって、話にはなを咲かせました。



インタビュー

2022年9月までベトナム語の情報紙を担当していたハンさんは、一昨年、男の子を出産しました。近くに両親や親せきがないハンさんは、地域の宿泊型の産後ケアや訪問サービスを利用して、産後の大変な時期をのりこえました。コロナ禍での苦勞もあったでしょう。ハンさんは、日本に住む外国人がみな、必要なときに必要な支援を得られることを願っています。他県に引っ越したハンさんは、現地のファミサポさんや一時保育を利用して、新しいことに挑戦しているそうです。



Đinh Thị Hồng Hạnh
ディン ティ ホン ハン さん



会津藩校日新館にて。左からハンさん、ビンさん、息子のアン君

日本の産後ケアってすばらしい！もっと知って利用して

■ 日本で出産すると決めたのはなぜでしょう？

本当はベトナムで産もうと思っていました。初めての出産でし、コロナのことも心配でした。でも、帰国したらいつ日本に戻れるかわかりません。悩みましたが、夫のいる日本で産もうと決めました。

■ 妊娠中に困ったことはありましたか？

妊娠中は習慣の違いに悩むことがありました。例えばベトナムの両親からは、妊娠中はココナッツミルクを飲むように言われました。妊婦がココナッツミルクを飲むとお産がスムーズになると言うのです。本当でしょうか？ココナッツミルクは日本では簡単に買えません。初めての妊娠だったので、どうしたらよいか不安になりました。

■ どんな産後ケアのサービスを利用したのですか？

まずは、猪苗代町にある「会津助産師の家おひさま」で宿泊型産後ケアサービスを利用しました。ふつうは産後一週間で自宅に帰りますが、私は両親や親せきが近くにいなかったの、「おひさま」の助産師さんに、24時間体制でお世話をしてもらいました。おかげでゆっくり体を休めることができました。赤ちゃんのことについてもたくさん教えていただきました。家に戻ってからは、訪問サービスにきてもらいました。私はおっぱいの問題があったので、マッサージの仕方や薬の情報を教えてもらいました。「特定非営利活動法人ファミリー・サポート・あいづ」のサービスも利用しました。私が病院に行くときに、アンくんも遊んでもらいました。また、一緒に散歩したり、不安な時に相談にのってもらいました。アン君がお腹にいるときは、いろいろ悩みがいっぱいあっても話せる人がいないと感じていました。でも、産後はまわりに支援してくれる方がいて、心強いと感じることができました。

■ サービスの情報はどこで知ったのでしょうか？

病院が「おひさま」のことを教えてくれ、「おひさま」が、「ファミリー・サポート・あいづ」の情報を教えてくれました。他にも、私が一人で子育て中に寂しくならないように、いろいろな子育て施設の情報を教えてくれました。



ベトナムに行ったアン君。散髪中です。

■ 産後ケアサービスを体験した感想は？

日本の産後ケアサービスをはじめて知り、利用してみ、とても感動しました。ベトナムでは、両親や親せきに頼るしかありません。今も、私が運転免許センターに通っている間、アン君を近くの保育園の一時保育に預けています。この一時保育という制度も素晴らしいですね。日本では自分たちの力だけで子どもを育てる親にとって、住みやすい国だと思います。

■ 検診や予防接種のしくみはわかりやすいですか？

母子手帳をみると、検診や子どもの成長に関する情報が全部わかりやすく書いてあります。市から配られる子育ての本には、おかゆの食べさせ方なども、とても細かく書いてあります。予防接種の予定も、市が情報を送ってくれるので、日本語がわかる私にとっては難しくありません。でも、日本語が苦手な人だったらどうでしょう？やはり、多言語サポートがあったらいいですね。こんな私も、病院や産後ケア施設ではベトナム語のサポートがあったらなあと思いました。出産直後は疲れてしまって、一時的に日本語がわからなくなったので…。

■ 当協会でも去年、子育てサロンができました。子育て情報を交換できる場所にしたいと思っています。

私は一度しか参加できませんでしたが、みんなで集まって話すと、外国人として子育てする気持ちを共感できて、いやされますね。できれば、外国人でも日本人でも、同じ年齢の子がいる親どうしで集まっておしゃべりできるといいですね。

■ 妊娠・出産・子育て中の方へメッセージを！

妊娠中、不安なときはすぐに病院の方に相談してください。特に外国人は、サポート情報を自分で見つけるのがむずかしいと思います。また、出産後は子育て施設にどんどん行ってください。そこでリラックスできれば、赤ちゃんも自分も元気になると思います。

会津の冬の子育ては、私には忘れられない経験です。雪がいつぱいでベビーカーを使わず、アン君を抱っこしてお散歩した日々が懐かしいです。もし連絡することがあれば、支えてくれた皆さんに「ありがとう」と伝えてください。

支援してくれた方たちにハンさんの感謝を伝えました。スタッフさんはハンさんやアン君を覚えていました。「他にもいろいろな国の方が来られますよ。会話に翻訳アプリを使うこともあります」とスタッフさん。最近は、日本語がわからない方とコミュニケーションするための“やさしいにほんご”の研修会もあるそうです。